

SASEBO de ENGLISH

市内の名物や名所を題材に、普段の生活の中で使える簡単な日常英会話をお知らせします。今回は「佐世保 JAZZ」を題材にした会話です。



Nahoko What kind of music do you listen to? (普段はどんな音楽を聴いてる?)

Emily I listen to jazz and rock'n'roll. How about you? (ジャズやロックンロールを聴いてるわ。あなたは?)

Nahoko I like jazz. Sasebo is said to be a city of jazz. (私はジャズが好き! 佐世保はジャズの街と言われているのよ)

Emily That's wonderful. (それは素敵ね!)



ジャズピアニスト
みおさん

広報テレビ番組「キラっ都させば」放送スケジュール

- 第1土曜 NBC 9:25 ~ 9:30 KTN 11:45 ~ 11:50
- 第2土曜 NCC 16:25 ~ 16:30 第2日曜 NIB 6:30 ~ 6:35
- 第3土曜 NBC 9:25 ~ 9:30 KTN 11:45 ~ 11:50
- 第4土曜 NCC 16:25 ~ 16:30 第4日曜 NIB 6:30 ~ 6:35

※上記内容を1カ月先行して放送しています。

※「キラっ都させば」と文字情報の「させば市政だより」は週替わりで放送しています。

※YouTube版はこちらからどうぞ。



アスチルベ



たくさんの小さな花がふわふわと咲く集合花で、ガーデンで人気の「アスチルベ」。今はブーケなどにもよく利用されており、優しい色合いと揺れる花穂でメインの花を引き立てます。本市では、平成15年ごろから生産が始まり、国内でナチュラルフラワーの気が高まったことを受け、本格的な栽培へと移行し、現在では日本一の生産量を誇っています。

アスチルベは比較的涼しい場所を好み、病気に強く、半日蔭や湿潤な土壌を好むユキノシタ科の宿根草で、11月～5月に旬を迎えます。本市で生産されるアスチルベの最大の特長は独自の「カラーリング技術」です。染色には門外不出の特殊な技法を用い、他の産地には真似できない佐世保オンリーワンのもので、「佐世保オリジナル」の商品として全国で取り引きされています。本来の色である白や淡いピンクのほか、カラーリングによって生み出される黄色や青色のアスチルベなど、その色合いの豊富さから、注目がさらに高まっています。

佐世保のアスチルベ生産者は、消費者の皆さんの視点に立ち、求めやすい価格で高品質なアスチルベをお届けしたいと日々努力を重ねています。この機会に皆さんもどうぞお買い求めください。

主な販売場所

最寄りのフラワーショップなど(11月～6月の期間)

📍ながさき西海農業協同組合

させば南部宮農経済センター ☎ 39-3310

人の動き(2月1日現在)

- 総人口 243,070人(前月比-278人)
男性 115,292人(-109人)、女性 127,778人(-169人)
- 世帯数 104,828世帯(前月比-124世帯)
- 1月中の動き
転入 372人、転出 479人、出生 166人、死亡 337人



新型コロナウイルスの感染が昨年1月に国内で初めて確認されてから1年以上が経過しました。

この感染症は未知のもので、今より感染者は少なかったものの大変な恐れを抱いた第1波。昨年4月には全国に緊急事態宣言が発せられ、その効果もあって収束したかに見えた後、じわりじわりと感染者が増加した夏の第2波。そして、感染症が流行しやすい冬を迎え、さらなる猛威を振るい、ことし1月には全国11都府県で2度目の緊急事態宣言が発せられました。

長崎県においても、県独自の特別警戒警報が発せられ、県民の皆さまに不要不急の外出自粛のお願いや飲食店等の時短要請などが出されました。

本市では、12月に79人、1月に193人の感染が確認され、特に高齢者福祉施設などでクラスターが相次いで発生したことによって、佐世保県北医療圏における医療提供体制が逼迫し、本市独自の「医療緊急事態宣言」を発した上で、市民の皆さまに感染拡大防止の取り組みを呼び掛けました。

この間、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに当たられた市内の公的病院・民間病院の医師・看護師をはじめとする医療従事者の皆さまの献身的で懸命なご尽力に市民を代表して心から感謝とお労いを申し上げます。

これからも、当分の間、大波小波の繰り返しが続くことを覚悟しなければならないと思います。医療従事者の皆さまはもとより、高齢者や障がい者をはじめとする福祉施設などで従事される方など、多くの皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

3月から順に医療従事者、高齢者、基礎疾患をお持ちの方、一般の皆さまへワクチン接種が始まる予定です。対象となる全ての市民の皆さまにワクチンを接種するというこれまでに経験のない大変な事業です。接種を希望される方は、お手元に届く接種券(クーポン券)やお知らせなどを注視され、混乱なく接種を受けていただきますようお願いいたします。

最後に、本市では新型コロナウイルス感染症の対応をされている医療従事者の皆さまを応援しようと、市内のレストランや飲食店が特別に作った弁当をお届けする事業を市民の皆さまや企業の寄付を基に実施しています。医療従事者の皆さまに感謝し、応援するために、この事業を続けていきたいと思っておりますので、市民の皆さまや企業、団体の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

市民の皆さまの力で、新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越えましょう。

佐世保市長 朝長 則男

私はウサギを飼っています。飼い始めてから1年と少しになります。茶色と黒のふさふさとした毛で、おとなしく、かわいい目をしています。新型コロナウイルス感染症の影響で学校がお休みになって、ウサギの世話をしたり、ウサギと遊んだりする時間がたくさんありました。ウサギがご飯を食べたり、元気よく跳びはねたりする様子を観察していたら、ウサギがじっと私の方を見て、観察しているような時がありました。

それまで友達と一緒に学校に行ったり、公園で遊んだりすることが普通だと思っていましたが、会えないと寂しかったし、友達はどうしているのかなといろいろ考えてしまいました。ウサギと友達は違うけど、ウサギを見ていると友達も私のことを考えてくれているのかなと思いました。

お母さんにそのことを言ったら、「友達と会えないことは寂しいかもしれないけど、友達のことを考える気持ちを大切にしなければ」と言われました。私は友達もウサギも大切にしようと思いました。

(市内小学生)



「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市ホームページからダウンロードすることもできます。

📍佐世保徳育推進会議 ☎ 23-2856